

CASBEE-建築(新築)2016年版
東京大学(柏II)融合研究実験棟

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.5
Q1 室内環境							0.40			3.1
1 音環境						3.1	0.15	-	-	3.1
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音						3.4	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						3.0	0.30	3.0	-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.30	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		コンクリートスラブ厚t150				5.0	0.20	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	0.20	3.0	-	
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境						2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御						3.0	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.60	3.0	-	
2 外皮性能						3.0	0.40	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		4階居室は個別パッケージエアコン採用、居室毎で冷暖房の切替可能				4.0	-	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境						3.1	0.25	-	-	3.1
3.1 昼光利用						3.4	0.30	-	-	
1 昼光率						3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口						-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		居室のある4階に中庭やテラスを計画				4.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御						3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境						4.1	0.25	-	-	4.1
4.1 発生源対策						5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		内装は全てF☆☆☆☆使用				5.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気						3.3	0.30	-	-	
1 換気量		中央管理方式の空調設備の居室の換気量を30m ³ /h・人				4.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能						3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理						3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		建物全体を禁煙とする				5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.8
1 機能性						3.8	0.40	-	-	3.8
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		誘導ブロックや多目的トイレ等、移動円滑化経路の基準を満たす				4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観						2.0	0.50	3.0	-	
2 リフレッシュスペース						2.0	-	-	-	
3 内装計画		先進的な研究所をコンセプトに内装の色彩と照明温度を合わせた				4.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理						4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性に優れた仕上の採用や、埃だまりの少ない計画とする				5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		各階に十分な清掃用具スペースを確保、点検口も十分な大きさ				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.4	0.30	-	-	3.4
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		基準法で定めた耐震性より1.25倍以上の耐震性を有する				4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出ダクト、高温排気ダクトは全てステンレスダクトを使用				5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途上位3種(排水B、冷温水C、冷媒D)を使用している。				4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		CASBEE 柏 補助資料1				4.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高は3.95m以上で計画した	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	ラーメン構造により、耐震壁を極力減らし、自由な内部空間を形成	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		将来設置の実験機器の大きさが不明瞭なため、荷重に余裕をみる	5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		建物高さを既存と調和する高さとし、色彩、植栽に配慮した	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.58	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.66	4.4	0.50	-	-	4.4
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型大便器、小便器を採用している。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		舗装に再生加熱アスファルト混合物、窓部に集成材、床にビニル系	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		十分な天井裏スペースを確保し、ゆとりある設備ルートを計画	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない接着剤を使用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		対象外	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	